

# 馬上岡後援会報 2021 春



昨年 3月 副議長 退任

小学生議会体験の様子

## 市議会 11 年目に!!

2021 年 市議会最大会派 自民党議員会 幹事長留任へ



### 3月市議会定例会 代表質問に立つ！

2011 年 4 月の初当選以来、お陰様で 10 周年、この 4 月で 11 年目に入ることになります。これもひとえに皆様方の多大なるご支援ご協力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

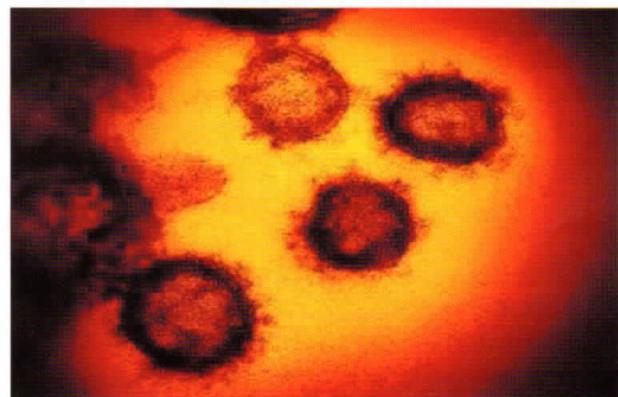
昨年、3 月に令和元年度副議長を退任し、4 月から幹事長という重責ある立場を拝命しておりますが、この 1 年は一昨年の台風第 19 号による被害の復旧復興、新型コロナ拡大防止対策や各種経済対策の立案、さらには栃木県知事選挙・宇都宮市長選挙の施行などなど、本当に多くの経験をさせて頂いたところです。

この 3 月議会では自民党を代表して登壇し、以下を質しました。下段枠組み、その答弁を記載します。

- ◆ 令和 3 年度の予算編成方針について
- ◆ 機構改革について
- ◆ 新型コロナウイルスワクチン接種について
- ◆ 新型コロナウイルス経済対策について
- ◆ 総合的な治水雨水対策について
- ◆ 交通未来都市の創造について
- ◆ 子どもの家事業について

#### ■令和 3 年度予算編成についての答弁

感染拡大防止と社会・経済活動の両立に最優先で取り組むとともに、「NCC」の形成に資する施策・事業に優先的・重点的に取り組むことで、「スーパースマートシティ」の実現を目指す予算とした。



#### ■新型コロナウイルス経済対策についての答弁 宇都宮版一時支援金の実施！

宮の食べトクは第 2 弾へ!!

国の「一時支援金」においても対象となる事業者もいることから、制度を補完するための「宇都宮市版一時支援金」を実施する。「GoToEat キャンペーン」などの実施状況等を見極めながら、適切な時期に実施したい。

#### ■総合的な治水雨水対策についての答弁 「貯める」取り組みを強化へ!!

奈坪川や越戸川、大谷地区の鎧川の整備事業に着手し、田んぼダムの普及を始め、学校や公園などを活用した雨水貯留施設を整備することにより、貯留量約 59 万立方メートルを目指し取り組んでいく。

地域連携 IC カード「tictac」  
2021 年 3 月 21 日(日) (予定)  
発売・サービス同時開始！

- 宇都宮地域をはじめ、栃木県内の関東自動車・ジェイアールバス 関東・宇都宮ライトレールで使える!  
乗るとき通りとききにタッチするだけの便利なカードです。
- ① IC マークのある 全国の鉄道・バスでも 使える!  
北海道から沖縄まで 1 枚で OK!
  - ② 檻事業者の定期券を 1 枚にまとめられる!  
(例) JR 東日本 + 関東自動車・JRバス の定期券も可能!
  - ③ IC マークのある コンビニや飲食店 などのお店でも 使える!

#### ■交通未来都市の創造についての答弁 バス上限運賃 400 円へ!!

「バスの上限運賃制度」の構築については、LRT の開業延伸の影響を受けることはない。「tictac」導入時期については、IC カードシステムの運用開始後、本年 6 月頃を目途に導入していく



# 賛成討論に立つ

## 令和3年度宇都宮市一般会計予算：議案18号

我が会派は昨年10月『現在・そして未来の市民の幸せのために』をテーマとし、21の重点要望と60の要望からなる「令和3年度 予算化要望」を市長宛に行った。特に「新型コロナウイルス感染症の拡大防止」と「社会・経済活動の維持及び拡大の取組」については「基金及び市債の効果的な活用」を求めて、「人口減少・少子超高齢化社会に適応したまちづくり」や「ポストコロナ時代の『新たな日常』」に向けた取組において十分配慮するよう求めた。結論として、本予算は「スーパースマートシティ」の実現に向け「第6次宇都宮市総合計画」に掲げる6つの未来都市の具現化を図るための「まちづくりの好循環」、その基盤となる「ネットワーク型コンパクトシティ・NCC」の形成に資する施策・事業に優先的・重点的に取り組むなど、限りある財源を効果的かつ効率的に活用し、喫緊かつ重要な課題に積極的に対応すべく編成された予算であると判断した。

一方で「子どもの家事業関連予算」では指定管理者に選定された一事業者の事業開始準備段階において、雇用契約のあり方や雇用条件をはじめとする様々な懸念の声が寄せられたことから、我が会派として担当部局への状況確認等も含めた独自調査を行った結果「当該ブロックにおける4月1日からの円滑な事業開始は残念ながら望めない、子ども達を守るためにやむを得ない」という、まさに苦渋の決断に至り、所管委員会において当初予算案を否決せざるを得なかったことは「無念やるかたない」という思いである。

先ず、歳入について市税収入は、給与所得や企業収益などの減などにより個人・法人市民税が前年度比マイナス8.3%、76億円減の847億円となり、国庫支出金は、ワクチン接種に係る感染症予防費負担金やLRT事業費補助金の増などにより、前年度比プラス.6%、72億円増の481億円を、県支出金は、前年度比マイナス3.5%、5億円減となる146億円を見込むものであります。

また、財政調整基金など3基金からの繰り入れは、前年度から10億円増の60億円を見込むとともに、市債238億円を効果的に活用して「スーパースマートシティ」の実現に向けた「都市基盤づくり」に必要な財源を確保しつつ将来的な公債費負担比率は目標とする15%以内で安定的に推移する見込みであるなど、自主財源の根幹である市税収入が大きく減少する中であっても、感染症への対応や市民サービスの維持・向上を図り「未来への投資」を着実に実行していくため、本市がこれまで培ってきた高い財政力を発揮されたものと評価するところである。

次に、歳出について新型コロナウイルス感染拡大の防止と社会・経済活動の維持拡大の両立を図るため、ワクチン接種を含む新型コロナ対策として約129億円、中小企業振興策として203億円余を計上したこと加え【大規模災害に備えた体制整備】として「総合的な治水・雨水対策」や「地域防災体制の強化」など市民の生命と財産を守る取組に係る予算が積極的に盛り込まれている。

## 令和3年度宇都宮市一般会計 過去最大規模：2291億円 賛成討論後の採決で可決!!

また、まちづくりの基盤となる【ネットワーク型コンパクトシティ形成】では、その要となる「JR宇都宮駅西側のLRT延伸計画の早期策定」【子育て・教育分野】においては「GIGAスクール構想を含むICT活用授業の推進」【健康・福祉分野】においては「高齢者外出支援事業の自己負担廃止」など【産業・環境分野】において「中小企業振興の推進」や「スマート農業の推進」に向けた支援【交通分野】においては「交通ICカード『totra』の導入と併せたバスの上限運賃制度」など公共交通ネットワークの構築のための施策・事業などに対して重点的に予算が計上されている。

本予算は新型コロナウイルス感染症による市民生活や経済活動に与える影響を最小化していくため、喫緊に必要となる事業について優先的に取り組むことはもとより、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現に向けて「デジタルトランスフォーメーション（DX）」を推進するとともに、持続可能なまちづくりに不可欠な「スーパースマートシティ」や「SDGs未来都市」等の具現化、その基盤となる「NCCの形成」に向け、優先化・重点化を図る予算となっており、総じて「地域経済の下支えや、まちづくりの好循環のさらなる進展が期待できる予算」と判断した。

今後も皆様と共に歩んで参ります!!



# 馬上剛後援会報

令和元年 第84代宇都宮市議会 副議長に就任



令和元年5月22日 宇都宮市議会臨時会において 令和元年 第84代宇都宮市議会副議長に就任

## 持続可能なまちづくりを目指す

### ■馬上剛（ウマガミゴウ）

昭和48年1月9日 宇都宮市生まれ 46歳  
県会議員秘書・国会議員秘書・会社経営を経て、平成23年4月統一地方選挙初当選（38歳）。現在3期目。

◇所属会派、自由民主党議員会での主な役職  
政調会長・筆頭副幹事長などを歴任

◇議会での主な役職  
宇都宮市監査委員・議会運営委員長などを歴任  
現在、副議長・議会ICT化検討会議座長

◇政党支部での主な役職  
自由民主党宇都宮連合会青年局長



地域において… 元小中PTA会長・元子ども会連合会長・中心商店街活性化委員会青年局長・消防第6分団・中央体育協会・中央交通安全協会副支部長・中央まちづくり推進協議会顧問など現在も多方面で活動中！

## 成長させて頂いた全ての皆様に…

平成最後の統一地方選挙においては、皆様に多大なるご支援ご協力を頂戴し、誠にありがとうございました。

大変残念なことに投票率は過去最低を更新しましたが、そのような中においても得票・順位ともに前回選挙を上回る結果を得ることができましたのは、まさに皆様お一人お一人のお力であり、感謝の念に堪えません。

また、改選後の臨時会において多くの議員各位のご推挙を頂きましたことを大変光栄に存じますとともに、宇都宮市政の更なる発展、持続可能なまちづくりの為、重責を担う覚悟でございます。

本市は今年度になってから国土交通省の「スマートシティのモデル事業」に選定されたことに加え、7月には内閣府から「SDGs未来都市」に選定されるなど、令和元年も素晴らしいスタートを切りました。

時代が『5G』及び『Society5.0』へと確実に進化し続ける中、我が国が迎えるのは人類史上初と言われる少子超高齢化社会です。

この難局を乗り切る為には、国と地方の機能役割を今一度精査して、国には国にしかできないことに特化してもらいつつ、地方は地方でしっかりととした将来ビジョンを描きながら様々な施策に取り組んでいく必要があると感じております。

今後ともご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

馬 上 剛



## [変わっていくJR宇都宮駅東エリア]

今後はJR宇都宮駅西エリアのまちづくりが鍵  
宇都宮市全体の成長の為に…

宇都宮駅東口地区整備においては、広域かつ多様な交流、賑わいの創出と、これによる都市の競争力や地域経済の活性化などに資する高次都市機能の集積に向け、民間の有する企画力・資金力などを最大限に活用した手法によるまちづくりを推進しています。（右：イメージ図）

構成は2000人規模のコンベンション施設を核にハイクラスな宿泊施設を備え、さらに商業施設、医療施設などが整備される予定で、これらにLRTの整備効果が加わることで飛躍的な発展が期待されています。

**駅東エリアが発展していくのは大変望ましいことではありますが、宇都宮市は歴史的にも二荒山神社・バンバを中心に栄えてきた街ですから、今後はいかに駅西エリアのまちづくりを推進していくかが重要となります。**

宇都宮パルコの撤退は中心商店街に大きな衝撃をもたらしましたが、JR駅西周辺整備とバンバ地区、東武宇都宮駅周辺地区という3つの都市拠点を「三点倒立」のようなイメージで、有機的に結び付けていくこと… 各々に機能役割を持たせて全体像（都市グランドデザイン）を描きながら整備を進めていくことこそ、宇都宮市のポテンシャルを飛躍的に高めていくことにつながります。

こうした魅力的な街の整備効果は、人々や企業を呼び込み、交流人口（関係人口）などを増加させることが期待されますので、結果的に宇都宮市全体を発展成長させていくでしょう。

また、今後は郊外エリアにおいても、公共交通の拡充をさらに進めていかねばなりません。その際、道路交通上の要衝となるエリアや、JR線・東武宇都宮線沿線の各駅周辺エリアは重要な地域拠点として育てていかねばなりませんが、公共交通拡充の要となるのが「LRT」です。



駅東地区に整備されるコンベンション施設（2022年に供用開始予定）



駅東地区整備の全体イメージ  
コンベンション施設の周辺にラグジュアリーホテル、シティホテル、商業施設、医療機関、ハイグレードマンション、駐輪場などを備える。



LRTの結節拠点となることから飛躍的な発展が見込まれる。



## 宇都宮市議会の開催予定

### ◇6月定例会 閉会

### ◇9月定例会

- |       |              |
|-------|--------------|
| 8月21日 | 招集告示・議会運営委員会 |
| 8月27日 | 議会運営委員会      |
| 8月28日 | 開会           |
| 9月5日  | 本会議          |
| 9月6日  | 本会議          |
| 9月9日  | 本会議          |
| 9月10日 | 本会議          |
| 9月11日 | 常任委員会        |
| 9月12日 | 常任委員会        |
| 9月13日 | 決算審査・企業会計    |
| 9月17日 | 決算審査・企業会計    |
| 9月18日 | 決算審査・企業会計    |
| 9月19日 | 決算審査・企業会計    |
| 9月20日 | 決算審査・企業会計    |
| 9月30日 | 議会運営委員会      |
| 10月1日 | 閉会           |

### ◇12月定例会

- |        |              |
|--------|--------------|
| 11月22日 | 招集告示・議会運営委員会 |
| 11月28日 | 議会運営委員会      |
| 11月29日 | 開会           |
| 12月5日  | 本会議          |
| 12月6日  | 本会議          |
| 12月9日  | 本会議          |
| 12月10日 | 本会議          |
| 12月11日 | 常任委員会        |
| 12月12日 | 常任委員会        |
| 12月18日 | 議会運営委員会      |
| 12月19日 | 閉会           |

その他、次世代技術を活かしたまちづくり調査特別委員会・誰もがいきいきと安心して暮らせるまちづくり調査特別委員会・各派代表者会議・閉会中の常任委員会・先進地行政視察（海外派遣含む）・広報広聴委員会・議会ICT化検討会議・議会制度検討委員会など…



## まだまだ伸びる！宇都宮市!!

佐藤栄一市長は就任以来、民間で培った経営手腕を行政経営に取り入れて参りました。素晴らしいリーダーシップにより成長してきた宇都宮市の実力を紹介します。

福田富一県知事へ予算化要望活動。  
佐藤栄一市長とともに、  
市議会を代表して…  
令和元年7月31日 知事応接室にて

## 佐藤栄一市長と共に歩む

### 宇都宮市の実力

- ☆共働き子育てしやすい街2018 第1位
- ☆活力度2018 第1位
- ☆住みよさ2013～2017 5年間 第1位
- ☆SDGs先進度 第3位
- ☆財政力指数 中核市
- ☆自主財源比率 中核市
- ☆年間商品販売額 中核市
- ☆農業産出額 中核市
- ☆製造品出荷額等 中核市

- 第1位
- 第1位
- 第1位
- 第3位
- 第3位
- 第3位
- 第4位
- 第5位
- 第5位

## [令和新時代]

## これから的地方自治についての考察

### 過去最低投票率の続出と無投票当選最多という現実

この度の統一地方選においては、市長選・都道府県議選・政令市議選・特別区議選・市議選の投票率が軒並み50%を割り込み、特に町村議選において立候補者自体が過去最少を記録。住民の無関心と地方議会における担い手不足の現実が浮き彫りになった。

地方分権・地方創生が叫ばれて久しいが、選挙の空洞化・形骸化が進行し、二元代表制を基礎とする地方自治の根幹を揺るがしかねない事態となっていることを深刻に受け止めねばならない。

特に過疎地域と言われる町村においては8つの自治体で議員定数を満たさない「欠員無投票」となっており、こうした事態を避ける為に選挙直前で議員定数を減らした議会もあるほどである。

宇都宮市においてもこうした傾向に歯止めがかからず、定数12名超の57名が立候補したにも関わらず、市議選投票率は38.34%と過去最低を更新した。

一般論として無投票当選や低投票率を招く主たる要因は「住民の無関心」「人口減少・超高齢化に伴う担い手不足」に加え、

「民主党の政権交代劇から政権奪還後の安定した自公連立政権（自民一強）と離合集散を繰り返す野党の衰退」が考えられるが、「住民の無関心」については議会としても広報広聴機能を強化したり、SNSによる情報発信を積極的に展開するなど、今後はより一層、開かれた議会運営を心掛けていく必要がある。

今後は社会保障費の増大などにより国の財政が圧迫され、地方自治体への財政補助が少なくなる可能性もある中、自治体は多様化・高度化していく住民ニーズに応えていかねばならないが、人口的にも財政的にも一定規模を持たなければ、いわゆる「フルセット行政」をどこの市町村でも行っていくことは難しい時代となるであろう。

しかしながら地方制度調査会で議論が続く「連携中枢都市圏」の要ともなる「中枢中核都市」の指定と強化については、全国市長会や町村長会の反発も大きく、地方においても拠点となる都市の一人勝ちを許さない雰囲気があるのも事実である。

余力があるうちに、地方自治体は人口減少社会に的確に対応することが求められており、それらを可能とする地方行政体制の整備が急務となっている。

### [LRTを考える～都市空間の再配分～]

## 過度な車社会からの脱却を目指す 歩いて楽しい都市へ

### ■京都・姫路・神戸・大阪などにおける「都市空間の再配分」先行事例

〈京都市〉四条通り 片側2車線 ⇒ 片側1車線へ **歩道を拡幅**

〈姫路市〉姫路駅北側再整備 両側6車線 ⇒ 両側2車線

**歩道を拡幅、一般車両を締め出しトランジットモール化に成功**

〈神戸市〉三ノ宮クロススクエア 国道2号線10車線 ⇒ 6車線

〈大阪市〉御堂筋 側道2車線を歩道化、将来は全6車線を歩道化検討



### LRT先進地・ストラスブル

まちの中心部に一般車両が入ることはなく、わずか20年でまちの姿は激変した。まさに歩いて楽しいまちの代表格である。

国内においても道路空間を見直す事例が目立ってきており、高齢者運転の事故が多発する中、過度に車だけを優先させる道路空間を見直し、自転車や歩行者用に再配分している先進事例であり、公共交通の拡充と併せたまちづくりの好例と言える。

## これからも皆様と共に…

今年（2019年）は4月30日に「平成」という時代が幕を閉じ、5月1日より「令和」となる改元、いわゆる御代替りの年となりましたので、多くの皆様にとって印象の深い年となると思われます。

私は「令和」という時代を生きていく上で大切なことは「平成」という時代をしっかりと検証し、反省すべきは反省しつつ、現実としっかり向き合いながら前を向いて歩んでいくことだと考えておりますが、昭和・平成という時代を経て、国民は地方議会の仕事ぶりに懐疑的な目を向けるようになったと言われており、言論NPOや早稲田大学など多数の調査でも、有権者は地方議会が自らの役割を果たせず、能力と多様性に欠け、何をしているかを住民に十分伝えていないと感じていることが明らかになっています。

価値観が多様化・複雑化していく社会の中で、外交・防衛などは国を挙げて取り組んでいかなければならず、そういう時代だからこそ国内の諸問題については地方側



低投票率だった今春の統一地方選挙：過去最多得票・最高順位（2997票／22位）での3選！本当にありがとうございました。

が積極的に諸課題の解決に向けて動いていくことが重要であり、それらに伴い税源移譲を含めた地方の権限や機能強化を求めていくなど地方議会の重要性が益々増していくことをしっかりと示していかねばなりません。

今後も皆様のご指導を仰ぎながら、ライフワークである中心市街地の活性化はもとより、公共交通の拡充、青少年の健全育成、教育行政全般、高齢者福祉などに全力で取り組んで参ります所存でございますので、旧に倍するご支援ご協力をお願い申し上げます。



### 馬響会 ご入会のご案内

- 「馬響会」は馬上剛の政治活動を支える政治団体（栃木県選挙管理委員会届出済）です。
- 馬響会の活動は会員有志の皆様による年会費により賄われております。
- 年会費は一般会員（年額10,000円）・特別会員（年額30,000円）となっております。
- 詳しくは馬上剛後援会までお問い合わせ下さい。

TEL 028-635-3681 FAX 028-635-3682  
E-mail umagami5.network@gmail.com